

## 令和元年度岩手県立博物館協議会における主な意見・要望とその対応状況

R2.12.31 現在

【令和元年度博物館協議会（令和2年1月29日開催）】

主な意見要望等	対応状況等
<b>不適切行為事案関係</b>	
<p>どこの博物館でも最初からいた職員がいなくなり、また様々な働き方の職員が増えている。</p> <p>日博協が作成した「行動指針」を博物館に関わる人たちがより広く読んで、行動指針にしたがって行動することが大事ではないか。インターネット等でも読めるので、より広く周知を図った方がいいのではと思う。</p>	<p>（当日回答）貴重なご意見に感謝する。</p> <p>様々な職場集団があるが、県立博物館のような専門機関は、人なり組織なりに特殊性、他と一緒にできない部分があるものと考えている。今回の事案は、残念であり申し訳なく思うが、業務のあり方、館のミッション等も含め、いい見直しの機会をいただいたものであり、事業団、博物館と一緒に考えてまいりたい。</p>
<p>再発防止策に関してであるが、社会から博物館が認められ、同様の研究がストップすることのないようにと思う。博物館の倫理規定は、非雇用者への適用等どうか。</p> <p>倫理規定の適用等について詳細の説明は不要であるが、社会に説明できるように、理解を得られるように進めて行っていただきたい。</p>	<p>（当日回答）県立博物館は、これまで他県にも誇れる業績を残してきていたが、今回は期待を裏切ったことになると思う。ただ、今後も期待に応えられるよう、機能が損なわれることのないよう、信頼回復を図っていきたい。頑張れ博物館、という声も多くいただいております。文化庁の指導も受けながら、対応を進めて参りたい。</p>
<p>学芸員のモラルの問題であるとともに、組織的な体制の問題ではないか。当面の対応としてマネジメント研修を行うとのことであるが、体制自体の見直し、例えばマニュアル作成等を行うのか。</p> <p>相手方の承諾を取ることにしたのか。具体的に定めたのか。</p>	<p>（当日回答）平成26年当時、問題が明らかになった際に、手続、マニュアル等を見直しし、改定したうえで、29年度から再開している。その後は、不適切処理はない。</p> <p>今回を機に、あらためて見直す必要があるか検討したい。</p> <p>相手の了解・了承を取るように改善した。</p>
<p>これまで突き詰めることなく基準が曖昧で、限られた専門家の中だけで処理されてきた問題だった。今のマニュアル、一般的な研究倫理とはちょっと違う、極めて専門的な分野であると思う。今まで見逃していたことをきちんとしようということなんだろうと思う。この分野の専門研究者が襟</p>	

<p>を正す機会になった。</p> <p>県は調査をしっかり進めているし、事業団もそれに基づいて動いていることが分かって納得したところである。</p>	
<p>平成 26 年度に不十分に終わったのは、こういう問題に対する意識が組織として薄かったということだろうか。</p>	<p>(当日回答) 平成 26 年度に明らかになった事案だけではなかった。当時、もっと広げて確かめるべきだったと思う。</p> <p>専門的な分野は専門家、プロに任せてしまいがちであるが、今回の事案を奇貨として、全員が当事者意識をもってやらないといけないことを、事業団としては痛感した。そのようなことを、職員に植え付けていく必要があると考えている。</p>
<p><b>民俗芸能関係</b></p>	
<p>民俗芸能関係の鑑賞会が休止されている。予算の関係もあると思うが、検証されたのか。知り合いからは（前見た時は）とてもよかったとの声もあるが。</p>	<p>(当日回答) 以前は伝統民俗芸能鑑賞会という事業を実施していたが、現在休止している。</p> <p>40 周年展に合わせて、沿岸の高校の民俗芸能を当館でと考えているが、団体に来てもらうのにバス代等かなりの金額がかかる。太鼓等を運ぶ費用もかかる。</p> <p>費用的な面から、ちょっとずつお金をかけて、子どもたちに楽しんでもらう方に向けている状況である。</p>
<p><b>40 周年特別展関係</b></p>	
<p>40 周年展について、三陸地域はまだ復興途上であり、自分にとっては魅力がないテーマのように感ずる。</p>	<p>(当日回答) 三陸地域にはまだまだ知られていない貴重なものがあり、掘り起こして魅力をお知らせするなどしたい。</p>
<p>40 周年特別展は非常に大きな意味を持つものになるのと思うが、子どもたちを連れて行くとき売りになるものは何か。復興教育の視点なのか、ジオパーク的なものか。</p> <p>他のテーマ展は、標題でイメージが湧くが、40 周年特別展は、テーマが大きい。どういうものになるのか、今考えている中身をお知らせ願いたい。</p> <p>三陸関連で、新しい発見の具体例としては、ど</p>	<p>(当日回答) 三陸再発見がテーマである。大震災を機に復興事業関連で色々な調査が進み、新たな発見も多々ある。こういう部分をお知らせしたい。震災から 10 年が経過して風化気味となりつつあるが、防災と復興、併せて三陸を訪れてもらうよう旅をテーマとしたい。</p> <p>考古部門では、古代・中世の鉄生産について、</p>

<p>のようなものあるか。</p>	<p>動植物関係、生物部門でも、色々新事実が出てきている。</p>
<p>恐らくこの時期は、東京オリンピック一色になっているかもしれない。小学校の立場からは、そのような中で、家の人、親が面白そうだと思うかどうかと思う。</p> <p>今岩手では、「風の電話」や「影裏」などの映画や、「おらおらで一人行くも」など岩手基点で発信しているものがある。菊池雄星や大谷など素人受けするものに便乗して、専門的なことではなく、流行りものに乗ることも一つかと思う。</p> <p>標題は大事で、興味をひくようにということも大事かと思う。素人の意見で申し訳ないが。</p>	
<p><b>環状列石展関係</b></p>	
<p>環状列石展は、縄文の世界遺産と関連してくるのか。</p> <p>北海道、北東北という、広い観点でやっていただければと思う。</p>	<p>(当日回答) 紹介する遺跡の発掘は、自分が掘ったものである。</p> <p>世界遺産関係を取り込むことも可能だが、直接は関係しない。</p> <p>国指定の史跡からものを借りてくるのは難しいが、関連するものが岩手県にもあったのだということを紹介したい。</p>
<p><b>40周年展特別展関係</b></p>	
<p>大きなタイトルなので、実際何をやるのか分からないのは一つある。震災に対する感情が、人それぞれによって違う。</p> <p>子供たちにとって、自由研究や感想文の材料になるような、ということもあるかと思う。</p> <p>三陸は、気仙沼と大船渡が境目で温暖化の指標にもなる。生物関連も、震災を契機に一気に調査が進んだ。</p> <p>震災そのものをテーマにするのではなく、こんなものが見つかった、わかった、というように明るい方に持っていくのも一つの手かと思う。</p> <p>具体化していく必要があるのでは。</p> <p>子ども達の知的好奇心が掻き立てられるよう、</p>	<p>(当日回答) 40周年記念展についてはずっと話し合ってきた。震災から10年経過するが、震災を忘れまいという展示ができないか、それが職員の意見だった。</p> <p>全員が参加して、一人残らず関わって、復興オンリーではなく、と考えている。</p> <p>今、各学芸員が色々各部門の掘り起こしを行っているところであるが、今後ともご意見をいただきたい。</p>

<p>家の人も興味を持てるようにと思う。</p> <p>⑮私は元中学教師であり、子ども達が何をきっかけに行動するのかについて、関心があった。</p> <p>観光ガイドをしているが、高知県一の啄木ファンを自称する人を案内して、不来方城跡の啄木の歌碑に連れて行った。公園の草むらがあるとそうすると言っていたが、その人は周囲にいる人に構わず、寝転んで啄木の歌を大声で吟じた。人を動かすのは「感動」だと思う。</p> <p>テーマに戻ると、困ったときにどう乗り越えてきたか。岩手では、三閉一揆に限らず、大震災も経験してきた。</p> <p>博物館のイメージで、人を動かす何かがあればと思う。博物館で、時期々々にこれがメインだというイベントを作ってほしい。</p>	
<p>40周年記念展は部門がまたがっているということ。ポスターを何種類か作ってみてはどうか。</p> <p>久慈の恐竜の骨が来たらうれしい。琥珀博物館に見に行くツアーがあってもいいかと思う。知事をお願いして、あまちゃん、のんちゃんに来てもらうのもよいのでは。</p> <p>各分野でメインになるものの展示、教えられるものがあればと思うし、家の人に関心を持てば子どもも来ると思う。大人が体験するようなイベントなどはどうか。</p>	
<p><b>解説員業務について</b></p>	
<p>解説員は研修を受けていると思うが、自身と誇りを持って展示室にいて、来館者に寄り添った存在であるようにと思う。</p>	<p>(回答) コロナ感染防止の観点から、現在は業務を縮小せざるを得ない。今後の対応について、検討していくこととしている。</p>
<p><b>文化財等取扱研修会について</b></p>	
<p>文化財等取扱研修会に参加したことがあるが、「紙の取扱い」の研修を行ってほしい。</p>	<p>(回答) 元年度に休止した、文化財等取扱講習会を開催する予定(1月28日～29日、博物館)。</p>

専門研究環境等について	
<p>専門研究に係る環境についてであるが、研究予算を少しずつでも増やして無理なく研究が進められるような雰囲気を作っていただくようお願いしたい。</p> <p>文化財の保存、研究は県博の使命、基本である。自治体史の編纂への協力もお願いしたい。どういう手伝いができるか、地域で関わる人をどう育てるのか、博物館に期待されることも大きいと思う。</p> <p>そういうことも踏まえて、学芸員の皆さんの研鑽に期待する。</p>	<p>(回答) 本年度から当館としては初めて、文部科学省の「科学研究費助成事業」を実施している。</p> <p>生物部門：研究課題「湿性草原の生物多様性保全における耕作放棄地の生態的価値：越冬鳥類を指標とした評価」</p>
<p>40周年ということで、建物、ハードで何か新しくというものはあるか。</p> <p>40周年ということで県民に対して訴えやすくもなると思うので、是非そちらの方もよろしく願いしたい。</p>	<p>(回答)「県立博物館の今後の在り方検討会」が昨年9月に県教育委員会に設置され、11月に県立博物館において、第1回検討会を開催した。</p> <p>博物館施設の在り方、博物館機能の在り方、職員体制の在り方について、外部委員の意見も聴きながら、検討を進めて行くこととしている。</p>